

【馬先生のご講演に関するご感想・ご意見（一部抜粋）】

- スライドで研究概要等わかり、有意義な時間を過ごすことができました。
- 研究の方向性が非常に判りやすかった。日本の若手研究者にも頑張ってもらいたい。
- 資料と講演のバランスが良く、英語講演の視聴に不慣れな人間でも理解できる部分が多く、参考になった。
- WPT における医療への応用は興味深い情報だった。
- 小電力用途の WPT もまだまだ拡大しそうに思った。
- MHz 帯 WPT は GaN 素子の登場で市場が広がると思った。
- 専門外ではあるが、イメージは理解できた。Medical 関連の WPT（小電力）ビジネス進行中であり、勉強になった。
- ワイヤレス給電システムの具体的な将来の応用モデルが明確で、今後の企業との共同開発に期待したい。
- 様々で多様なワイヤレス給電の応用場面の探求、とりわけ、マットの上での複数給電、ドローンへの給電などがとても興味深かった。
- 将来への拡張用途は興味深い。電動自転車への WPT は想像していなかったのが新鮮だった。
- MHz 帯の WPT について、その基礎を学ぶことができ非常に有意義な時間だった。水平に並べたコイルから垂直なコイルへの給電という発想がなかったのが面白いと感じた。
- 携帯電話のワイヤレス給電にとっても関心があったので、将来が楽しみ。実用化の際の合意形成の課題について考えてみたい。
- 中国の大学に在籍している先生のご講演を聞ける貴重な機会だった。今後も可能であれば日本国内だけでなく、多国籍の大学や企業の先生のお話を聞けると嬉しい。
- 海外(中国)でここまで WPT が積極的に開発、実証に進んでいることに驚いた。米国同様にチャレンジングで身軽な動きに焦りさえ感じた。

【畑先生のご講演に関するご感想・ご意見（一部抜粋）】

- WPT 技術を俯瞰して伺うことが出来た。
- 多くの研究分野を見ることができて全体感を把握できた。
- 盛りだくさんな内容で、研究の一旦を垣間見ることができた。
- WPT に関して、総括的な内容で現在の課題や動向に関してよくわかった。
- 大学での研究開発の様子が良く伝わってくる講演だった。
- 走行給電での電力制御の話をもう少し聞きたかった。
- 最近の研究状況や新しい情報を得ることができ、大変参考になった。
- 電動化自動車を鉄道と同様に考えた上での”走行中充電”という考え方にはハッとしました。
- DWPT のインフラをどうやって整えていくか協力していきたい。
- 非常に多くのプロジェクトに携わっており、同世代として刺激を受けた。また、モビリティは動くことが目的という表現はわかりやすかった。今後、どこかで使っていきたい。
- ワイヤレス給電から始まり、多様な関心と研究を進めておられることがよくわかった。走行中給電での制御通信の重要性に同感できる。
- WPT は脱炭素社会ではなくてはならない技術の一つなので、更なる研究開発への注力に期待したい。
- 持ち運び電動バイクがもっと身近になる未来を想像して楽しくなった。バイク以外の形状でもっとコンパクトなものができるのではないか。
- 各研究室で実行されている研究内容が理解できた。他国と比較し成果の実現化に関する国の方向性が見えなく不安である。現行の EV のみの方向性には疑問が残る。
- パワーエレクトロニクスや WPT に関する諸技術をご紹介いただき、非常に多様な技術分野であることを再確認した。特に DWPT について、仕様を具体的に設定されていると感じた。現時点では「夢の技術」として語られることが多いが、(現状課題は多くとも)現実に実装されつつある技術なのだということをもっと社会に知ってもらう必要があると思う。

【日下先生のご講演に関するご感想・ご意見（一部抜粋）】

- 失敗をきちんと評価して次につなげるという研究姿勢に好感を持てた。
- 開発者の失敗経験談が直に聞けて良かった。期待される技術なので頑張ってもらいたい。
- 普通の講演は殆ど全てが上手く行った話が多い中、失敗事例は大変興味深かった。3相一括でキャンセルするアイデアも目から鱗だった。
- 3相 WPT におけるノイズ対策は、大変興味深い内容だった。
- 大電力 WPT の実用化の進捗を知った。三相の扱いは新鮮であった。
- 30kW WPT とその課題解決に向け果敢に研究に取り組まれている姿に感動した。
- 共研でもメーカーと同じような泥臭いことをしていることに共感を持ち、信頼できる研究をしていると感じた。
- 現地での失敗談が聞けて、大学の共研でもメーカーと同じようなことをやっていて大変だなと思う反面、なるほどと納得できてよかった。
- 体験談からシステム設計の難しさを感じられた。正弦波インバータもついに来るかという感じで今後注目したい。
- 建機などの応用について産学で取り組まれていることに驚いた。頑張ってもらいたい。
- ケーソン工法に非接触集電技術のその後（実用化状況）についても知りたい。
- 施設管理者として、大電力 WPT をいかに扱っていけばよいか、考えさせられた。
- 大学の先生が実際に使う電気設備の開発・設計・製造・設置までやる仕事を請け負って完結していることは素晴らしい。
- 実際に取り組まないと分からない、実現場への適用の苦労話が面白かった。私自身もこうならなければならないというようなスタンスで仕事をすると融通がきかなくなるので、失敗は起こるという前提で柔軟に対応しようと思った。
- 講演内容とは違うが、新潟の積雪の経験から、WPT のインフラが雪国や地方都市、中山間地で喜ばれるシステムはどのようなものか、諸外国の開発事例も参考に調べていきたい。

【質疑応答に関するご感想・ご意見（一部抜粋）】

- 若手が国を超えた交流することが今後とも重要と思う。定期的な交流もして欲しい。
- 三相型 WPT の議論が有意義だった。実現出来たら面白いと思った。
- 今回の発表内容の構成は話題がつながりやすく、専門外であっても比較的わかりやすかった。
- アカデミアの活動に関し WPT の研究を深堀されていて自身の啓蒙になった。
- 国の総合エネルギー政策と将来ビジョンとのマッチングをどのように進めていくか、欧州・中国との自国優位の STD 化に対する早期対応の必要性を感じた。

【自由記述欄（一部抜粋）】

- WPT は固定電源からの充電課金や、税金（車両、電気）に対する現状と制度的課題があれば話を聞いてみたい。
- 今後の講演も期待したい。特に、走行給電をどのように社会実装していくのかの議論が深まるとよい。さらに、e-mobility で対応しない水素エンジン車など脱炭素車の講演もあってもよいと思う。
- 質疑応答で電波法に関する苦労話が出ていたが、このような実務的な内容を共有できるのも良いと思う。
- WPT 普及に向けたマイルストーン策定を期待したい。
- 今回のように海外で活躍されている先生の話を入れて頂くと視野が広がってよい。
- 専門職でない者にとっても分かりやすい講演が多く、多くの方にとって聞く価値の講演が多いように思う。
- コンテンツ設計の不足は今後の日本経済の敗北に繋がることを実感。農耕民族だから仕方ない…では済まない時期が来ていると。